

丸山山行報告（2020年2月8日（土））

参加者： 伊藤（L）、石井、中島、（3名）

行程： 9:30 芦ヶ久保駅着 9:55-10:35 登山口-11:10 日向山分岐-11:40 県民の森分岐-12:00 丸山山頂（960m）昼食 13:05 下山-13:40 大野峠-14:45 赤谷-15:07 芦ヶ久保駅（買い物・反省会） 16:40=西武線車内解散

丸山という名前の山は全国各地にあるが、今回登るのは秩父の芦ヶ久保近くに位置する960mの山である。標高はそれほど高くはないが、山頂からの展望は素晴らしい。

本日は9時30分に芦ヶ久保駅に集合、芦ヶ久保駅で降りたのは10名程度であった。名物の「氷柱祭り」は暖冬のため残念ながら中止となっていた。9時55分に出発し、しばらくは入り組んだ車道を登って行く。空気は冷たいが天気良く日当たりも良いので、歩くと汗が出てきた。途中で振り返ると山腹が大きく削られた武甲山が良く見えている。30分ほどで登山口に到着、車道と別れ林の中の登山道に入って行った。

植林帯の中の登山道は日影に雪が多少残っているがアイゼンを使うほどではない。やがて広葉樹が多くなり、急傾斜を一登りすると広いゆるやかな尾根に出た。ほとんど日陰の道は凍っていて滑りやすくなるので注意して登る。立派な車道を横切り少し登って県民の森と別れ、ここから右の尾根を行くと12時ちょうど丸山山頂（960m）に着いた。

山頂にあるコンクリート造りの大きな展望台からは、武甲山や両神山がすぐそばに見える。やや雲がかかっているが日光の男体山や白根山も白く見えている。展望台の屋上にもベンチがあるが、吹きさらしで風があるので下に降りて昼食とすることにした。

展望台の南側は風が遮られ日差しが暖かいので、芝生の斜面に腰を下ろす。山頂付近にはベンチが沢山あり大勢の人が休んでいるが、10人以上の団体を除くとそれ程人はいない。その団体さんが「余ったのでよろしかったらいかがですか？」と甘酒をいただいたのでありがたく頂戴した、美味しかった。ポカポカと暖かくついのおんびりしてしまったがそろそろ下山することにして、再度展望台に登って展望を楽しみ13時05分下山した。

開けた明るい道は霜解けで泥んこの場所もあるが、すぐに歩きやすくなった。パラグライダーの離陸場からは関東平野を望み、大野峠を過ぎると杉林の中の暗い斜面をひたすら下る。歩きやすい道であるが展望が全くなく、いささか単調である。4時05分ごろ谷に出会うと後は比較的歩きやすい沢沿いの道となる。14時45分に赤谷バス停に着き、あとは車道沿いに歩いて15時07分芦ヶ久保駅に着いたが、下山路も誰にも会わない静かなコースであった。駅前道の駅で土産物を買ひ、となりの食堂で反省会も開催した。16時40分発の電車で池袋方面に向かい車内で解散した。

今回は良い天気で展望が素晴らしく、山頂以外ではほとんど登山者に会わない静かな山であった。記憶に反して急な登りも若干あったが、登りやすい山であった。

（伊藤）